

図書館においてある本の中から
おすすめの本をピックアップ。
バラエティに富んだ本をご紹介します。

油を使わずヘルシー料理！
ポリ袋レシピ

川平 秀一 著



料理からスイーツまで、ポリ袋1つで作れちゃいます。

町立 鷹巣図書館
TEL0996-86-1111

町立 指江図書館
TEL0996-88-6500



停車中にたった7分間で、新幹線をピカピカにする新幹線劇場を紹介します。

新幹線お掃除の天使たち

遠藤 功 著

Pick Up publication

長島 文芸

ながしまぶんげい

明神俳句会

あま 虻日和男手に干すすすぎもの
黄砂来る善からぬ輩伴ひて
若布干す軒連なりて漁師村
みどり児のチヨキがなかなか初桜
雛の日や生涯二人笛太鼓
島棲みの出入り止めたる彼岸西風
黄砂降り天草島もうす曇り
特攻の御霊やすらぐ花吹雪
眠る嬰つむじが右に桃の花
修験者も見し鶴北へ帰りけり
故郷へ橋を渡れば山笑う

淵脇 護
筑前 初市
関 佳代美
迫口 君代
大堂 早苗
二階堂妙子
二階堂恵子
坂口 静子
山寄加代子
竹内 功
大堂 正弘

長島短歌会

満開の桜に百舌は戯れて飛び交ふ度に花散らしを
明日は亡父さんの米寿の誕生日と娘言ふ忘れ至れ
ど言葉をあわす
生え継ぎし三つ葉の緑に亡母偲ふ海苔巻き具材の
一品なりし
硝子戸に海の反映光りしか小綬鶏飛び来微塵に割
るる
教科書に残れる亡夫の落書に俄かに淋し力が抜け
て
高串の桜並木の花びらは轍のごとく道路をまろぶ
夕暮れの孟宗竹は揺れ止まず行人岳の灯間より見
ゆ
壊されし古巢の隣に作りゆく燕の番はひと日忙し
き

浜田美代子
濱畑 松枝
林 ヒロ
本田 幸子
松元 睦子
吉田 映子
市尾 操
岩下 ち江

創生短歌会

赤々と天草の空の夕焼けが真向ふわが家の窓仄赤
む 鶴去りし餌場を機械の響きたり蓮華田渡る風まだ
冷えて 樗平 頼子
夜半に読む本をめくれる手の皺がレンズを通し太
く深けれ 米尾 和子
貰ひたる筈を茹で明日には子に送らんか長島の香
を 坂之下典子
球磨川の岸辺に連なる桜花満開にして流れに映糸
り 中山タマエ

砂浜に流れつきたる貝殻の自伝消したる目に痛き
白 竹之内重信
竹群に風吹けばいと日竹群は傾ぶきている風吹く
方に 宮元 司
その昔母に頼まれ両の手を毛糸巻き巻きに貸しし
ことあり 大塚 洋子
取り柄なき雑木ですらも木のゆえに日日の風音伝
えて立てり 村上 義彦
片耳を枕につけて寝ねたれば命の音すかすかなれ
ども 山下 学
あたたかき飯に卵をかけて食う鶏がくれし今日の
しあわせ 石原百合子
運勢は晩年運に入りたるが金無きことに変わりは
あらず 野村 益信

一般作品

「短歌」
生ること人生長く有てこそ思う事など成しとげたりや
佇みて渦潮眺め思いつめ母の命のおわりを知りて
駆け降りて駆け上がりまた駆け降りる大阪駅の未
だ夢に出づ 平地 良雄
見わたせば柳桜を間にまげて春の丘よりみわたす
錦 中仮屋辰子

「俳句」
隕石の落ちたる春の天体シヨウ 宗方 清明